

業況観測アンケート（2022年度 第4四半期）調査結果 （前年同期比）

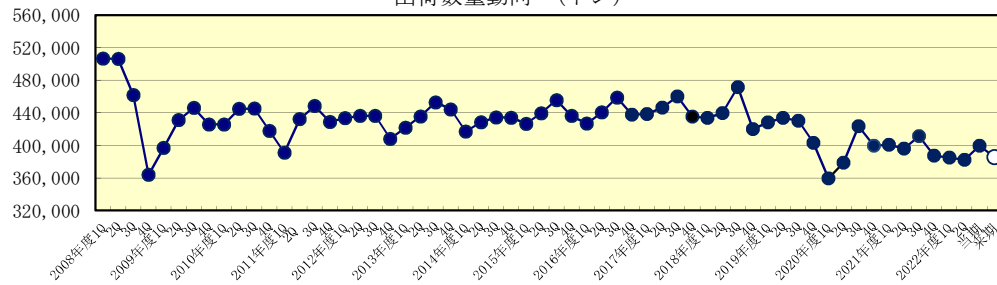
2023/4/24

集計企業数 33社

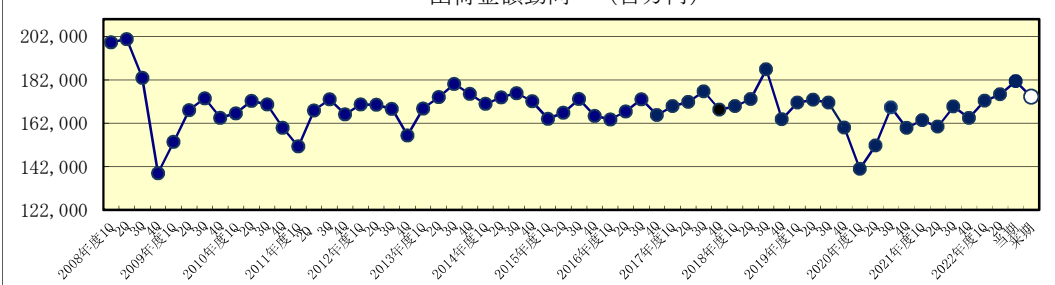
（アンケート値指数換算）

	出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)			製品価格 動向		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+45%~+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+40%~+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+35%~+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+30%~+35%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+25%~+30%未満	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+20%~+25%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	1.5	0.4	0.0
+15%~+20%未満	0.0	0.0	0.0	0.4	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	9.8	1.5
+10%~+15%未満	0.0	0.0	0.0	8.1	14.0	10.0	0.4	0.4	1.9	9.7	2.2	4.8
+5%~+10%未満	2.1	2.5	3.1	8.3	0.6	5.7	2.7	2.5	2.8	4.6	3.5	9.1
+5%未満	3.4	5.1	9.7	12.2	12.5	13.6	2.5	2.4	11.0	5.2	6.2	5.7
± 0%	0.6	0.6	2.3	0.0	0.8	2.1	4.3	3.8	4.6	10.5	10.7	11.6
-5%未満	23.0	13.0	16.0	1.9	3.2	1.3	0.9	2.2	11.6	0.2	0.2	0.2
-5%~-10%未満	3.7	10.7	0.2	0.5	0.1	0.1	21.1	19.3	0.9	0.2	0.0	0.0
-10%~-15%未満	0.0	1.1	1.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-15%~-20%未満	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-20%超	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0

出荷数量動向（トン）



出荷金額動向（百万円）



業種別動向観測アンケート（2022年度第4四半期）調査結果

2023/4/24

（前年同期金額比）

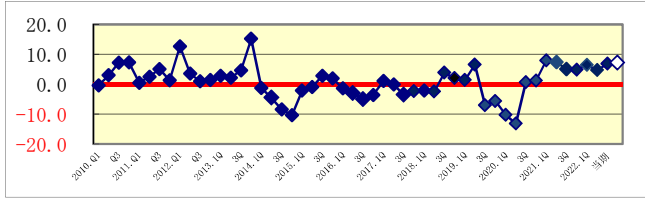
集計企業数 31社

当期(1~3月)実績

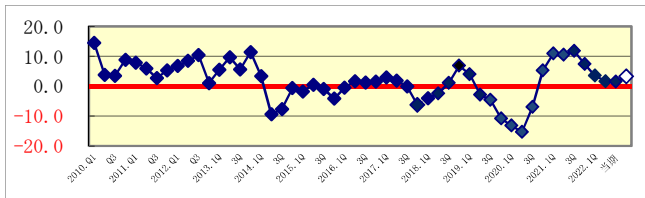
建築	建築資材	道路車両		船舶・構造物	機械・電気機械・金属	木工製品	家庭用	トラフィックペイント
		新車	補修					
6.8	1.5	15.6	10.9	17.3	5.1	3.9	-5.4	-2.5

メーカーのコメント例

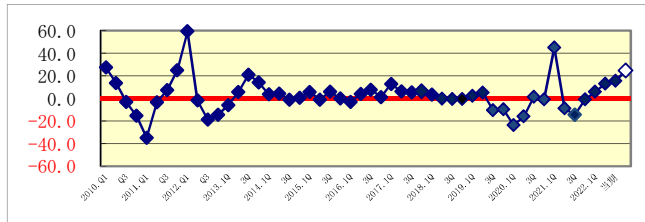
建築・外装
 ・延期されていた施工物件の再開や人流等も含めた経済回復で、値上げ効果もあり金額増につながった。ただし、原材料費や光熱費の上昇により利益的には圧迫されている。



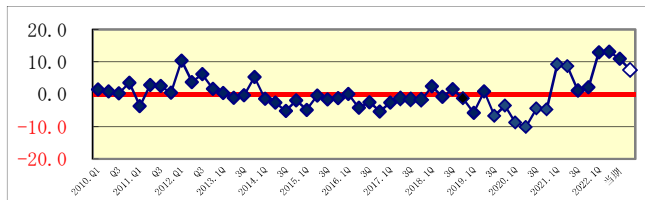
建築資材
 ・住宅価格高騰により特に新築戸建てを中心に需要低迷の傾向が続いており、出荷量としては厳しい状況であるが、販売単価アップにより、金額は微増傾向であった。



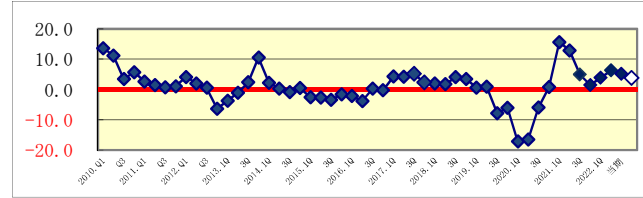
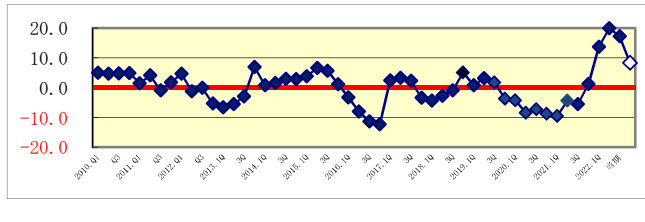
新車
 ・半導体不足から徐々に回復し、自動車メーカー各社の生産台数増産にともない、数量・金額とも増加となった、輸出もプラスで推移した。



補修
 ・コロナ対策の緩和で外出機会が増え、補修需要の増加を後押ししたと見られ、値上げ効果も大きく金額増となった。

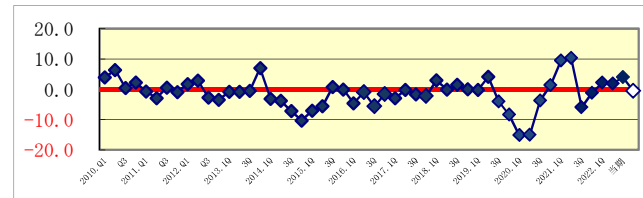


船舶・構造物
 ・新造船、補修船共にコロナ影響も落ち着き安定した状態で、特に大型新造船、大型修繕船が好調であった。
 ・構造物も堅調な需要に支えられて推移している。値上げも浸透し金額増。

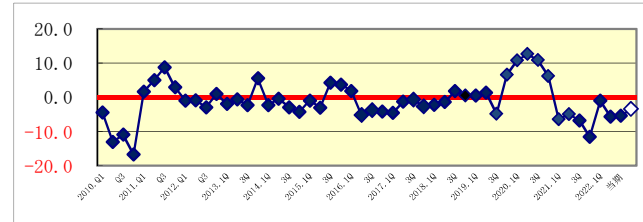


メーカーのコメント例

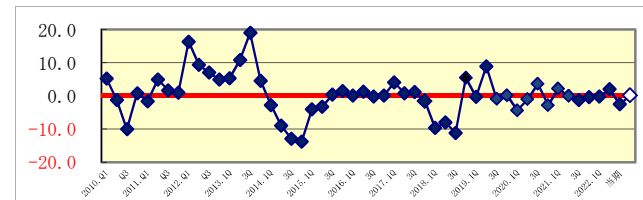
機械・電気機械・金属製品
 ・鋼板製品の価格高騰、通信医療機器分野での部品不足、空調関係の不調などの影響が続いているが、環境配慮型粉末塗料、自動車内装用電装部品などでは回復傾向。値上げ効果も有り、金額は増加。



木工製品
 ・金額面では前期比プラスで推移したが、イス、テーブルなど脚物製品の動きが鈍く、製品価格は下げ止まりつつも消費が上向き気配は見られない。



家庭用
 ・巣ごもり需要の沈静化と光熱費や物価の高騰から個人消費が大きく低下し、ホームセンター関連でも厳しい状況が継続している。一方ではエアゾール製品の出荷増やネット販売の好調もあり、今後の回復に期待する。



トラフィックペイント
 ・溶融材は順調に推移したが、カラー舗装、安全対策における滑り止め工物件は減少傾向にあり、数量、金額とも厳しい状況である。公共事業ではほぼ前年並みにほぼ推移している。

- ◆ 業種別動向観測アンケート（四半期）の回答の「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。
- ◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

全体
 コロナ後の経済回復により船舶・構造物や自動車など売り上げ増となった分野も有り、値上げ効果と相乗して金額面では前年を上回った。但し数量面では全般的に低調。今後、原材料価格上昇分の価格転嫁が課題。

業種別動向観測アンケート（2022年度第4四半期）調査結果

2023/4/24

（前年同期比）

集計企業数 31社

（アンケート値）

集計企業数	建築・外装			建築資材			道路車両						船舶・構造物			機械・電気機械 ・金属製品			木工製品			家庭用			トラフィック ペイント					
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	新車			補修			前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期			
							前期	当期	来期	前期	当期	来期																		
+50%超	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+45%～+50%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+40%～+45%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+35%～+40%未満	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+30%～+35%未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+25%～+30%未満	0	1	0	0	0	0	2	3	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
+20%～+25%未満	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+15%～+20%未満	0	1	2	0	0	0	2	1	2	2	1	1	2	2	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
+10%～+15%未満	2	5	0	0	2	0	3	1	0	2	1	0	2	1	1	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
+5%～+10%未満	4	4	6	3	1	2	0	1	0	2	4	3	0	0	1	7	5	4	1	0	1	2	1	0	2	0	1	2	0	1
+5%未満	3	3	4	2	2	3	0	0	3	0	0	0	2	0	1	3	4	6	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
±0%	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	2	4	0	0	2	1	1	1	1	1	1
-5%未満	4	2	3	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	1	2	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0
-5%～-10%未満	1	1	1	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
-10%～-15%未満	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	2	1	1	2	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1
-15%～-20%未満	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-20%超	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0